

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	新潟医療福祉大学学生寮	
建設地	新潟県新潟市北区島見町字上割地889番2、外2筆	
用途地域	第1種中高層住居専用地域、法22条指定区域	
建物用途	集合住宅	
竣工年	2024年2月 竣工	
敷地面積	2,077.95 m ²	
建築面積	950.85 m ²	
延床面積	2,546.22 m ²	
階数	地上3F	
構造	木造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2023年4月18日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{49.4}{43.2} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.2		バリアフリー計画	Q2.1.1.3 3.0
			維持管理	Q2.1.3 3.5
			設備の更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	3.0		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 3.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	2.5		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1 3.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 2.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	1.7		節水	LR2.1.1 1.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4 1.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6 3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	2.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 高耐久やメンテナンスしやすい材料を採用し維持管理に配慮した。
- 周辺環境に配慮し調和を図った。

CASBEE®新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新潟医療福祉大学学生寮	階数	地上3F
建設地	新潟県新潟市北区島見町字上割地889番2、外2筆	構造	木造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、法22条指定区域	平均居住人員	83人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 竣工	評価の実施日	2023年4月18日
敷地面積	2,078㎡	作成者	株式会社 国際総合計画
建築面積	951㎡	確認日	
延床面積	2,546㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	大学関連施設が集まる場所に学生向けの共同住宅を新築する計画である。学生が安心して生活できるように防犯に配慮した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	建物は中廊下式のため南北軸とし、各住戸には十分な大きさの窓を設け自然採光・換気に努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の学生寮との調和をはかり、馴染みやすい色調とした。
LR1 エネルギー	照明は全て長寿命・高効率のLEDを採用し、共用部は人感センサーで無駄な消費を控える。	LR3 敷地外環境 住戸数に対して100%の駐輪スペースを確保した。
Q2 サービス性能	高耐久やメンテナンスしやすい材料を採用した。	
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない材料の採用に努めた。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される